



## コロナ禍における 地域とのつながりについて

社会福祉法人東京蒼生会 大森老人ホーム

丸山浩史・福原見奈



- ・1997年(平成9年)開所
- ・デイサービス・体育館・児童館・都営住宅
- ・シルバーピアがある複合施設
- ・2003年(平成15年)より地域貢献・交流に取り組み開始
- 地域貢献・地域交流 18事業  
(2019度事業報告書より)
- ・コロナ禍の取り組み
- 地域貢献・地域交流 8事業  
(2020年度事業報告)



## みまもり隊 ボランティアパトロール



- ☆2016年7月から行っている  
利用者主体のボランティア
- ☆近隣の小学校の登校時間  
7:50~8:20
- ☆2020度実績  
年間153日のべ789名
- ☆現在活動登録者 6名



## 活動にあたり

- ・入所者の方が安全にできる



- ・屋根がある天候に左右されない  
ホーム玄関前に限定
- ・入所者の保険の充実  
(野外でも支給される保険)

- ・地域にもホームの取り組み  
を知ってもらう



- ・小学校、PTAに事前相談。
- ・ホーム広報誌で紹介

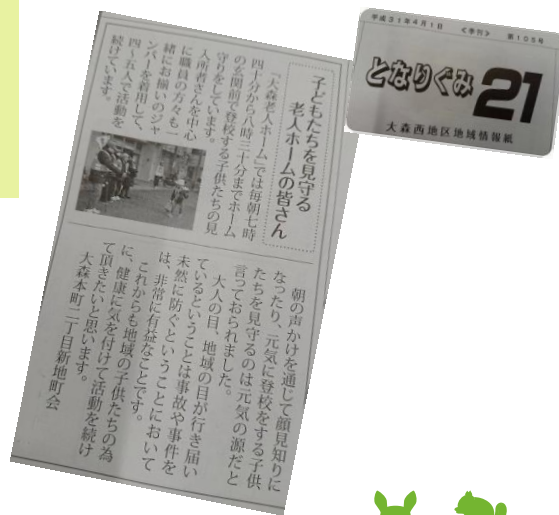
- ・継続的な活動にする



- ・設定した時間内で、個々が無理なくできる時間、日程で参加を呼びかけた



活動をつづけるなかで…  
**小学生だけでなく中学生、高校生**  
**保育園児、保護者、住民や通勤途**  
**中の方などなど…**  
 あいさつの輪が広がっている。



## コロナ禍での活動変化

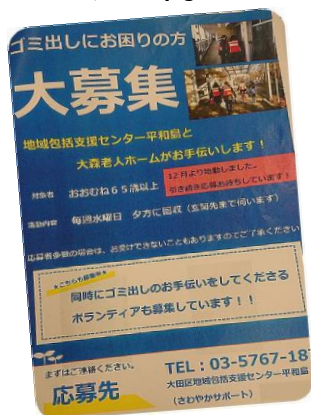
- ☆感染症対策強化のため  
2020年2月から一時中止。  
2020年6月22日から再開活動  
(学校再開にあわせ)
- ☆マスク着用・距離を保つ・  
小学生と握手やハイタッチ  
をしない。
- ☆小学校に活動再開を連絡。  
広報誌にも掲載。

- ☆再開初日、小学生と  
「久しぶりだねえ」  
「元気だった？」など挨拶が  
はずんだ。

- ☆ホーム職員も利用者も、  
コロナ禍の中でも変わらな  
い安心を感じた。



## ゴミすて隊



- ☆2016年12月～
- ☆都営住宅のごみ捨てのニーズについて包括支援センター相談。
- ☆都営自治会、住宅供給公社に提案、協力を求めた。
- ☆必要な備品はホームで保管することになった。



## 活動について



- ☆毎週水曜日活動
- 地域包括支援センター 第1、4
- 大森老人ホーム 第2、3
- 第5週は交代制
- ☆昨年度の実績
- 50日間 職員(ホーム 包括)50人
- ☆対象者 3世帯



- ☆コロナ禍での活動変化
- 感染症対策を行い継続している
- (手袋、ゴミの取り扱い方)



## 近隣小学校での取り組み(6年生対象)

高齢者体験  
(ホーム担当)



交流会



資料によるワークシート  
学習に変更

日本の高齢化について考える

【1】高齢者って何歳から？  
日本では65歳以上を高齢者と定義している。

【2】日本の高齢化ってどんな感じ？  
現在の日本→ 2020年平均寿命 81.41 女 87.45  
※男 4人に1人が65歳以上、高齢者2,000人で高齢者  
1,000人 → 2065年頃には4.7%の日本、平均寿命 男  
※男 2.6人に1人が65歳以上となり、高齢者1.3人

【3】高齢化の進展の現状を把握しよう！ 身の回りに目を向けよう

・高齢化率について  
3段階→①70%高齢化社会②45%高齢化社会③15%超高齢化社会  
※日本は高齢化率 28.4 なのでは高齢化社会です。

・高齢化率からみた都市部の特徴  
※高い→福岡県 (27.2) 低い→ 沖縄県 (22.2)

・身の回りの高齢者  
高齢化率70%から高齢化率14%にまで低下するまで高齢者の数  
は減るが、高齢者の数は、少子化で減る。高齢化率40%増 72%  
※日本は、この数よりも低い(高齢で高齢化率を減らした)  
※2000年以降、韓国、シンガポール、中国が日本より高

6年生の皆さんへ、  
今回は、交流する機会がなく残念でしたが、大森老人ホームの皆さんに、これからも  
接しています。中学校では、是非！職場体験にきてください。

確認ワーク  
(答えは別紙資料の中にあります。よーく、読んでみてください)

組 名前

・日本では、高齢者とは何歳から？  
① 60歳 ② 80歳 ③ 65歳

・現在の日本は〇〇社会？  
① 高齢化社会 ② 高齢社会 ③ 超高齢化社会

・2020年は、約4人に1人が65歳以上ですが、2065年は？  
人に一人65歳以上になる予想。

・大森老人ホームの施設種類は、〇〇老人ホーム？  
① 経費老人ホーム ② 養護老人ホーム ③ 特別養護老人ホーム

・高齢者になったらどんな変化がありますか？(2つ)

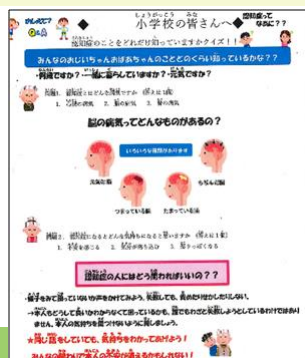
・福祉とは…  
『ふ』の『く』を『し』です。

・感想…箇条書きで

## 近隣小学校での取り組み②(6年生対象)

認知症サポート講座  
地域包括支援センター担当

資料によるワークシート学習  
に変更



- ・「ホームDEランチ」
- ・ 月3～4回 地域高齢者に提供



- ・「紙面版ホームDEランチ」
- ・ ホームと地域包括支援センターと共同制作し参加者に返信ハガキ同封し送付した。



## 返信について

みなさんのご様子を教えてください。  
下記を記入してポストに投函ください  
●ホームDEランチがお休みになってから、  
体調に変化ありましたか？

- 1、特に変りなし。元気です。
- 2、以前より元気がなくなりました。  
体調に変化ありましたか？

自由記述・外出していますか？  
コロナ禍で何か始めたことはありますか？  
どんなことでも良いのでご記入ください。

大森老人ホーム 地域交流担当

- ☆24人中12人から返信あり
- 「まだつながってることに安心した」
- 「85歳になって友人と会話やお茶が  
できないのはつらいです」
- 「ホームから年賀状もらって嬉しかった」
- 「皆さん会いたいです 再開待ってます」
- ☆ホームからの発信を続けてい  
く大切さを感じた。
- ☆現在第2弾誌上DEランチの発  
行を進めている
- ☆ホームDEランチの再開方法を  
模索している。



## コロナ禍での活動

感染症対策に追われ、先も見えない不安な日々の中…

☆活動を継続できたことで、関係性が保てた。  
変わらない『つながり』に安心感を持っている。

☆形が変わっても発信をしたことに反応があった。  
後押しされている嬉しさを感じた。  
継続の責任、活動への原動力になっている。

コロナ禍でも、今までのつながりは続いている。  
コロナ禍でも、途切れかけたつながりは回復できる。  
コロナ禍でも、感染症対策をしながらつながり続けたい。

